

大好き図書館！



イベントでの読み聞かせに  
～大型絵本・大型紙しばいを活用しよう～

大型絵本、大型紙しばいとは？

大人数を対象とした読み聞かせをするために、著作権者の許可を得て拡大制作された絵本で、「ビッグブック」と呼ばれることもあります。大きさは様々で、迫力のある大きさのものは、おはなし会などのイベントで子供たちに喜ばれています。

- ▶ **大きさ** 通常の絵本の2倍以上のものから高さが1メートルを超えるもの
- ※ 大型絵本や大型紙しばいは、図書館に登録した団体を対象に貸出を行っています。団体登録の条件などは図書館にお問い合わせください。

利用してみよう！ 一事前に準備や確認を

- 1 会場や人数の確認**  
大型絵本、大型紙しばいは大人数・大きな会場が適しているため、事前に会場や人数の確認をしましょう。  
※ 小規模な会場や小人数の場合は、オリジナルの大きさの方が適しています。
- 2 絵本用の台を準備**  
通常の本と違い大きく重たいため、絵本が動かないように支える台を準備しましょう。
- 3 場所の照明や採光を確認**  
光沢紙を使用しているため、反射等により見えにくい場合があります。読み聞かせを行う場合は、照明等の具合を事前に確認しましょう。

新刊情報

崩れる脳を抱きしめて  
知念実希人／著  
実業之日本社

広島から神奈川の病院に実習に来た研修医の碓氷は、脳腫瘍を患う女性・ユカリと出会う。外の世界に怯えるユカリと、過去に苛まれる碓氷。心に傷を持つふたりは次第に心を通わせていく。しかし、実習を終え広島に帰った碓氷に、ユカリの死の知らせが届き…。



うまれてくれてありがとう  
マーク・スペリング／文  
アリスン・ブラウン／絵 俵 万智／訳  
WAVE出版

子ねずみがおかあさんねずみをお願いする。「ちょっとのあいだ、すきっておもって」。でも、ちょっとのあいだなんて、すぐにすぎてしまう。ちょっとのあいだは綿毛がとぶまでになり、朝になり、夜ねむるまでになり…。幸福な時間をすごせる絵本。



カラー図鑑日本の火山  
高田 亮／監修  
ナツメ社

火山の基本的な知識から、それぞれの火山の特徴まで、わかりやすく解説。過去の火山活動がわかる「日本活火山年表」付き。日本の活火山111をすべて掲載。



おいでよ！おはなし会

- とき  
11月11日(土)  
午後3時～4時  
11月25日(土)  
午前11時～正午
- ところ  
児童コーナー

11月の休館日（○…休館日）

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |

日田の輝き人を紹介します  
HITAJIN

「父親の後を継いで農業に挑戦しよう」と東京の商社を辞め、今年の春から山田原で大葉栽培を始めた村上央倫さん。一昨年の4月に農業生産法人株式会社ノートを立ち上げ、現在は、大葉の生産から流通・販売まで一貫して行う企業を目指しています。

山国町出身の村上さんは、高校は日田市内に通学していたため、日田は馴染み深く、水がきれいで、特に山田原の農地は日当たりが良く、また福岡に近いことから流通面からみても最適な場所と日田の土地柄を生かした栽培に取り組んでいます。これまで作物栽培の経験は全くありませんでしたが、父親が山国町で大葉栽培をしていたため、一から教えてもらい、2年目を迎え何とか一人で栽培できるま

「日田産」を多くの人に届けたい



村上央倫さん



現在は、山田原にハウス2棟を建て植付の時期をずらす工夫をし、年間を通じて栽培・出荷ができるようにしています。

しかし、「ハウス栽培でも天候の変化は大きく影響し、雨が多すぎると湿度が上がって病気が出るなど、経験を積んでいくしか分からないことがたくさんある。まだまだ、勉強中です」と村上さん。現在、6人の従業員と一緒に毎日収穫作業に汗を流し、収穫した大葉は、福岡に出荷し、業務用のしそ餃子等の加工品や刺身の付け合わせなどに利用されています。

最近ようやく生産販売等も落ち着き、奥さんと3歳の娘さんを東京から日田に呼べるようになり、決まった休日が取れない中でも、時間のあるときは色々なところに連れて行きたいと、家族思いの村上さん。

将来は、「日田産」という形で出荷していきたい。パッケージも工夫し、飲食店等で取り扱う場所があれば、地元の大葉として売り出していきたい。また、大葉は栄養価が高いので、パウダー状や錠剤にできないかと考えている」と、様々なことに取り組んでいきたいという積極的な姿勢が伺えました。また、一番の原動力になっているのがお客様からの声だと言います。「きれいな大葉ですね」と言われると、嬉しく、やりがいを感じるという輝かせながら語ってくれました。

これからも、地元の皆さんと一緒に新たな大葉栽培に取り組んでいきたいと語る村上さんの今後の活躍が期待されます。

集落支援員活動④

地域を盛り上げます！

今回は大山地区で活躍している岐部さん、河津さんをご紹介します！

大山町担当、岐部みかです。今年4月から活動しています。33集落を巡り、「水分補給して熱中症に気をつけて」と声をかけると「みかちゃんもね！」と元気で優しい言葉をいただきます。縁側で93歳のおじいちゃん達と一緒に、閉校記念アルバムを虫眼鏡で見ながら遠い少年時代について語り合ったり、老人クラブや小学校で読み聞かせをしたりと、穏やかな時間を過ごしています。また、先の水害の教訓として非常持出し袋の準備や、味噌汁の塩分濃度を測定しては「塩分控えめ」の呼びかけも…。今日も「あいうべ体操」で免疫力をアップしよう！



岐部みかさん

大山町担当、河津由美です。昨年4月から活動しており、去年は主にお宅訪問をさせていただき、空き家調査なども行っていました。町内を回る中で地域の方からお声かけをいただき、遊休地に花を植える活動を始めました。また、有償ボランティア「カッスル隊」の事務局を担当しています。「居心地よく住み続けられる町づくり」に、微力ですがお役に立てるよう端っから端っまで頑張っています。



河津由美さん